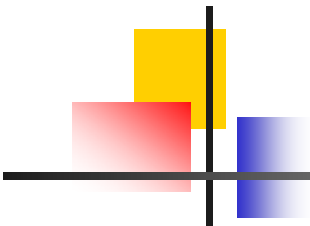


河内長野市 報道提供資料



文楽の魅力小学生に解説

河内長野市教育委員会においては、市民の郷土愛を育み、アイデンティティを確立する1つの、そして有効的な方策として、平成24年に「古典の日に関する法律」が制定・施行されたことを機に「文化的な伝統（古典）」の普及啓発及び継承を図っております。

今年度のテーマを「文楽」と設定し、現在、文楽講座を3回にわたり開催しています。河内長野市立石仏小学校においても、今回、第1回目の講師を務めた、故吉永孝雄氏最後の弟子の山下孝夫（やました たかお）氏を招いて、自国や郷土の伝統文化の学びを通じて、自己を確立する学習を進める一環として、文楽の魅力、小学6年生の児童に解説をします。当日は、安珍・清姫の伝説に基づく文楽の『日高川入相花王』（ひだかがわいりあいざくら）の演目の一場面を、学校の先生方も参加し、文楽の魅力をわかりやすく伝えます。

なお、市役所1階の市民サロンでは、山下孝夫氏が、夏休み期間中に同校において、今回の「文楽」公演の演目を描いた絵画や解説などの資料を9月25日（水）まで展示しています。

記

日 時：平成25年9月19日（木）第6校時 14：45～15：30
場 所：河内長野市立石仏小学校 1F ラーニングルーム

そ の 他：また、文楽講座の一環として、9月28日（土）ラブリーホールにて、第26回古典芸能鑑賞会「文楽」公演を実施します。
一般当日券3,800円（前売券3,300円）、昼夜通し券5,500円、学生券1,500円で販売しています。

- ・昼公演：「生写朝顔話（しょううつしあさがおばなし）」
13：30開演（13：00開場）
- ・夜公演「花競四季寿（はなくらべしきのことぶき）」
「ひらかな盛衰記（ひらかなせいすいき）」
17：30開演（17：00開場）